

保護者の皆さま

藤沢市立善行小学校  
校長 田中 香里

## 学校づくりアンケートの結果について

善行小学校では、12月に1～6年の全校児童と4年生保護者の皆さま、学校評議員の皆さまを対象に「学校づくりアンケート」を実施いたしました。

昨年度から、4年生の保護者にアンケート用紙を配付しご協力をお願いする形に変更しました。また、学校評議員の皆さまには学校関係者評価をしていただきました。学校での様子をみていただく機会が少ない中にご協力くださいました皆さまに、心より感謝申し上げます。

アンケートの結果から見えてくる本年度の本校の傾向や特徴、今後に向けての方策について次のとおりご報告いたします。

## &lt;児童&gt;

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

No.	振り返ること	A	B	C	D
1	学校に行くのは楽しい	68	24	6.3	1.8
2	授業や勉強にいっしょうけんめい取り組んでいる	65	30	3.5	1
3	学校の勉強はわかりやすい	64	30	5	1
4	手洗いや、マスクをつけることなどのきまりは守っている	78	19	2	0.5
5	学校で友だちと仲良く過ごしている	78	18	3	1
6	人のいやがることをしないようにしている	69	25	4	1.8
7	先生や友だちにすすんであいさつをしている	65	26	6.3	2.5
8	先生や友だちの話をしっかり聞いている	69	28	2.5	0.3
9	学校やクラスのきまりを守って過ごしている	72	23	3.3	0.8
10	先生は私たちの話を聞いてくれる	75	21	2.5	1.5
11	いじめなど、もし困ったことがあったら、相談できる先生や友だちがいる	71	19	7.3	2.5
12	学校であったことや先生の話在家中話している	58	24	13	4.8
13	自分には良いところがあると思う	45	36	10	9.1

ほとどの項目についても90%以上の児童がA、Bと答えています。昨年度に比べ、他学年・他学級との交流や宿泊行事、遠足、校外学習などの学習活動の制限がだいぶ緩和されました。マスクの着用、手洗いなどは継続していますが、子どもたちが学校生活において、楽しく仲良く友だちと関わり、意欲的に授業に取り組んでいる様子が見られうれしく思います。一方で、12、13の項目が、他の項目と比べると80%台とやや低めです。それでも、13の項目については70%台が続いていたので、少しずつ自己肯定感が高められているのだと思います。子どもたち一人一人が持っている良さを自分自身で認められるような言葉かけや可能性を引き出して伸ばす細やかな指導・支援に引き続き努めていきます。

本年度の重点目標の「あいさつをしよう」「はなしをきこう」「きまりをまもろう」については、児童の自己評価で90%以上の児童がおおむね目標を達成しているとしています。「すすんであいさつをしている」については、保護者の皆さま、教職員からの評価は、児童の評価よりやや低めです。継続した取り組みにより、自分からあいさつする気持ちが育ち、あいさつをすることが身に付くことを期待したいと考えます。

<保護者> A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない

		(%)			
No.	振り返ること	A	B	C	D
1	学校は教育方針や教育活動の様子をわかりやすく伝えている	47.4	47	5.3	0
2	学校はわかる授業に努め、基礎学力の向上を図っている	52.6	44	1.8	1.8
3	学校は一人一人の子どもを理解しようと努力し、適切な指導を行っている	54.4	42	3.5	0
4	学校は子どものことについて保護者の相談に応じている	61.8	36	1.8	0
5	学校は、感染症対策について適切に努めている	57.1	32	11	0
6	学校は子どもの安全確保に努めている	66.7	30	3.5	0
7	学校は保護者や地域の方々の支援や協力を受けている	66	32	1.9	0
8	学校は適切に緊急連絡を行っている	73.2	25	1.8	0
9	お子さんはあいさつをしている	49.1	39	12	0
10	お子さんは人の話を聴く態度が身につけてきている	29.8	58	12	0
11	お子さんはルールを守ろうとする態度が育っている	45.6	51	3.5	0
12	お子さんは学校に行くことを楽しみにしている	43.9	49	5.3	1.8
13	お子さんは家庭でも時間をとって学習に取り組んでいる	26.3	39	28	7
14	お子さんは学習の基礎的な力はついている	31.6	54	14	0
15	お子さんは早寝早起き朝ごはんの習慣がついている	33.3	51	11	5.3
16	学校や学級からの配布物を必ず読んでいます	40.4	53	7	0

保護者の皆さまからは、概ね良い評価をいただきました。まだまだ、参観の機会や時間が限られていますが、学校の教育活動への取り組みや、子どもたちの成長を評価してくださっていることに感謝申し上げます。また、「社会科見学、プラネタリウムなど、体験がとても学びになる」「子どものやる気を引き出してくれた。学習に積極的に取り組むようになった。」「学級日より、学年日より、学校だよりをうまく活用し、学校生活の様子を保護者に分かりやすく伝えている」などの感想を添えていただき、励まされました。ありがとうございました。今後も、児童一人一人の理解に努め、適切な指導・支援をしていきます。そして、迅速できめ細やかな対応を心がけるよう取り組んでいきたいと考えます。

また、行事等の開催方法に関しては、状況に応じた対応を検討しながら取り組んでいることに理解を示していただき心強く感じました。PTA活動への参加、学校生活などに関しては、何点かご指摘を受けました。必要に応じて対応を検討したいと考えます。そして、重点目標の「あいさつ」については、先にも述べましたように、ご家庭と協力しながら引き続き子どもたちの育ちを支えていきます。

### <学校評議員>

学校評議員の皆さまには、運動会を含め教育活動の様子を直接みていただくことができました。各項目、概ね良好との回答をいただきましたが、保護者や地域の方との連携については課題が残ります。来年度から設置されます「学校運営協議会」の中で、保護者と地域と協働し地域性を活かした学校運営を進められるよう検討していきたいと考えます。また、次のようなご意見ご感想をいただいています。

- ・徐々に、行事等が実施されるようになり良かったと思います。特に保護者が我が子の学校での様子を見られるようになれば、より互いの理解が深まるのではないかと思います。
- ・コロナ感染拡大防止に留意して活動が行われている。
- ・感染症対策は日々ありがとうございます。
- ・「善行小だより」は学校の様子、児童の様子がよくわかります。
- ・コロナ禍にあって、難しい問題もあると思いますが、子どもたちが相互に関わる活動ができれば良いと思います。
- ・引き続き、地域との連携をお願いします。

## ＜職員による自己評価＞

No.	Aあてはまる Bややあてはまる Cあまりあてはまらない Dあてはまらない	(人)				(% )			
		A	B	C	D	A	B	C	D
I	1	17	8	0	0	68	32	0	0
	2	15	10	0	0	60	40	0	0
	3	10	14	1	0	40	56	4	0
	4	19	6	0	0	76	24	0	0
		A	B	C	D	A	B	C	D
II	1	16	9	0	0	64	36	0	0
	2	16	9	0	0	64	36	0	0
	3	6	17	2	0	24	68	8	0
	4	11	13	1	0	44	52	4	0
		A	B	C	D	A	B	C	D
III	1	17	8	0	0	68	32	0	0
	2	19	6	0	0	76	24	0	0
	3	20	5	0	0	80	20	0	0
		A	B	C	D	A	B	C	D
IV	1	17	8	0	0	68	32	0	0
	2	17	8	0	0	68	32	0	0
	3	16	9	0	0	64	36	0	0
	4	15	10	0	0	60	40	0	0
		A	B	C	D	A	B	C	D
V	1	16	9	0	0	64	36	0	0
	2	15	9	1	0	60	36	4	0
	3	13	11	0	0	54	46	0	0
	4	16	9	0	0	64	36	0	0
	5	8	14	3	0	32	56	12	0
		A	B	C	D	A	B	C	D
VI	1	4	17	4	0	16	68	16	0
	2	9	15	1	0	36	60	4	0
	3	8	16	1	0	32	64	4	0
	4	10	14	1	0	40	56	4	0
	5	9	15	1	0	36	60	4	0
	6	9	14	2	0	36	56	8	0

本校職員も、六つの観点から今年度を振り返り自己評価を行いました。

学級・学年・学校だより、学校 HP 等を通じて教育活動をわかりやすくお伝えする取り組みは今後も継続するよう努めます。

学校目標「あいさつをしよう」については、「あいさつは活発になったが、子ども自らあいさつをすることはまだ十分ではない」ととらえています。自分からあいさつをしようという気持ちを育てるのには、どのような働きかけが有効なのか引き続き考えていきます。また、「いじめ防止の取り組みの充実」や「児童が自分も仲間も大切に作る学級・学年経営」には、「児童支援担当教諭を中心とした校内支援体制の構築」が重要です。児童支援担当教諭が担任代替に入らなくてはならない学校事情はありましたが、これまで構築してきた児童支援体制を学校全体で共有し、子どもが自分の良さも友だちの良さも認められる、そのような学校づくりに継続して取り組んでいきます。そして、さらに子どもたちの成長を促せるよう努めます。

また、地域の行事参加や保育園・幼稚園・中学校との連携については、今年度においても困難な状況でした。取り組み内容が子どもにとって興味が持てるものになる工夫や検討をしていくことが必要だと考えています。

これらの結果を校内で共有し、今後の改善に向けて具体策を講じ、学校づくりに活かしていきます。

※今回のアンケートでお寄せいただいた多くのご意見等を、学校全体で共有・協議し、今後の学校づくりに反映させていきたいと思ひます。